

子ども・若者ワークショップ

— わたしたちにとって、住みやすいまち —

すべての子どもが幸せな生活を送ることのできる社会を目指す

「(仮称)京田辺市こども計画」の策定にあたり、“住みやすいまち”について子ども・若者が意見を出し合い、出た意見を主体的に取り組むきっかけとするため、ワークショップを開催しました。

小学生

日時	令和6年(2024年)6月2日 10:00~11:30
場所	コミュニティホール
参加者	京田辺市に在住・通学する小学生:11名
概要	テーマ:「わたしたちにとって、住みやすいまち」 ＜京田辺市にほしい場所・ほしいもの＞ 京田辺市で好きな場所や、危ないと感じる場所、困っていることなどの意見を出し合い、京田辺市にほしい場所・ほしいものを考える。

成果

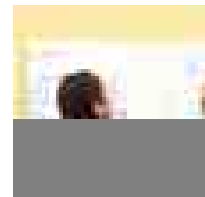
好きな場所としては、公園や図書館などが多く挙がりました。危ないと感じる場所や困っていることとしては、交差点や信号のない道路、街灯がなく暗い道、カーブミラーが見えにくい道、踏切、自転車がよく通る坂道などが指摘されました。

これらの意見をもとに、京田辺市にほしい場所について話し合いました。その結果、自転車専用道路や歩道橋、街灯、信号、大人も子どもも障がいのある方も利用できる場所(オストメイト対応トイレやユニバーサルデザインの設備)、サッカー場、自転車の練習場、鉄道博物館、プログラミング教室などが望まれていることが分かりました。

さらに、京田辺市の公式ホームページや「広報ほっと京たなべ」に、図書館などの小学生も利用する場所に関する情報を掲載してほしい、公園の穴を埋める土や石、図書館の本の数を増やしてほしい、給食のおかずやおやつを充実させてほしいという要望も寄せられました。



市長の総評



本日挙がった意見の中で、現在取り組んでいる事例として、田辺中学校の横にある公園の整備があります。

市が行っている取組に関する情報を、この場にいる方々だけでなく、より多くの人に伝えるための広報手段を検討したいと思います。

皆さまのご意見を伺い、京田辺市をより良いまちにするために努力してまいります。引き続き、様々な視点からのご意見をお寄せいただけると幸いです。



中学生・高校生

日時	令和6年(2024年)6月2日 13:30～15:00
場所	コミュニティホール
参加者	京田辺市に在住・通学する中学生:4名 京田辺市に在住・通学する高校生:3名
概要	テーマ:「わたしたちにとって、住みやすいまち」 <京田辺市にほしい場所・ほしいもの> 京田辺市の地図を使って、良いところとそうでないところについて意見を出し合う。その後、どの場所に何が必要か、具体的な場所とほしいものを考える。

成果

良いところとしては、子どもが多く、地域のつながりが強いことが挙がりました。また、京田辺市民まつり「たなフェス」が盛り上がり、歴史を感じられ四季折々の風景が楽しめることや、整備されている道路があるところ、病院が多いところ、大学があるところも評価されています。一方で、問題点としては、道が狭く、信号が少ないことが指摘されました。また、学生が遊べる場所が少ないこと、交通機関の本数が少ないこと、観光地が少ないことも課題とされています。

これらの意見をもとに、次のような具体的な要望が出されました。まず、他の地域にも「京田辺市立南部まちづくりセンター"ミライロ"」のような施設や自習室を設置してほしいという声がありました。また、移動図書館を増やしてほしいという意見も聞かれました。さらに、大学の施設(グラウンド、体育館、図書館)を一般に開放してほしいといった意見や、車道と自転車道の幅を広くしてほしいこと、普賢寺小学校周辺の自然を活かしたお店やレジャー施設がほしいという声も寄せられました。

また、京田辺市立中学校では合唱コンクールに力を入れています。市内には発表に適した施設がないため市外の施設を利用する必要があるという問題があり、市内にそうした施設を設けてほしいという要望も出されました。



若者

日時	令和6年(2024年)6月2日 15:30~17:00
場所	コミュニティホール
参加者	京田辺市に在住・通学する大学生:15名 市職員:8名
概要	テーマ:「わたしたちにとって、住みやすいまち」 <京田辺市にほしい場所・ほしいもの> 京田辺市の地図を使って、良いところと問題があるところについて意見を出し合う。その後、どこに何があれば在学中に京田辺市で楽しく、安全に過ごせるのか、また、大学を卒業しても京田辺市で働き、暮らしたいと思えるかを考える。

成果

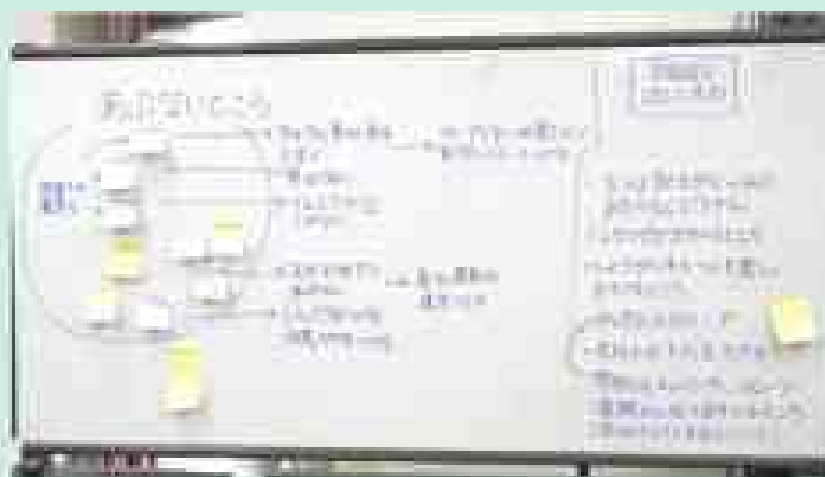
良いところとしては、子どもが多く、子育て環境が充実しているところや、住民の温かい雰囲気、そして自然が豊かなところが挙げられました。一方で、歩道がない道路や、街灯が少なく暗い道があること、図書館や体育館などの施設が少ないこと、人口に差があることなどが課題とされました。

希望する施設や場所としては、京田辺市の自然を生かしたレジャー施設や体験施設・飲食店の増加、大学周辺や駅周辺の商店街の活性化が挙げられました。また、家族で楽しめるイベントの開催が良い思い出となり、市内での生活や仕事に繋がるとの意見もありました。

京田辺市ではさまざまな取組やイベントが行われていますが、情報が市民に浸透していないという課題があります。これを解決するために、市の広報活動を強化し、SNSの活用や店舗でのチラシ配布、公園に掲示板を設置するなど、市民が情報にアクセスしやすい環境整備が必要とされています。



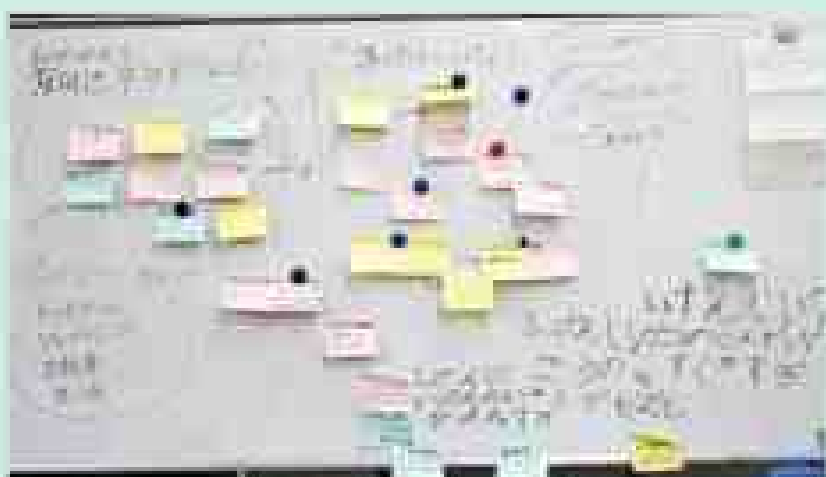
各ワークショップの成果
(ワークシート)



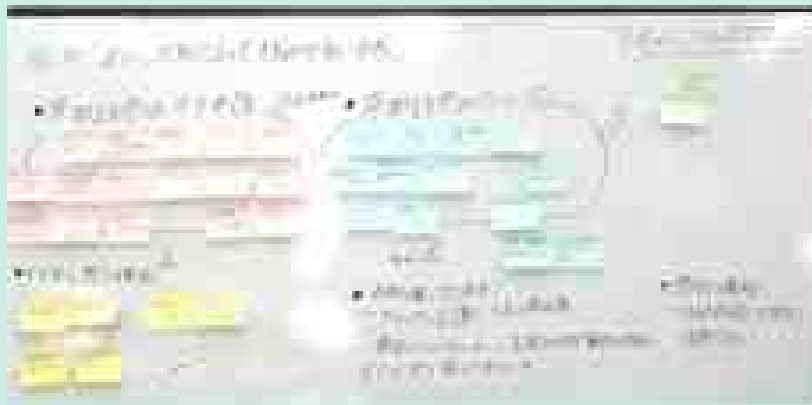
小学生 1班



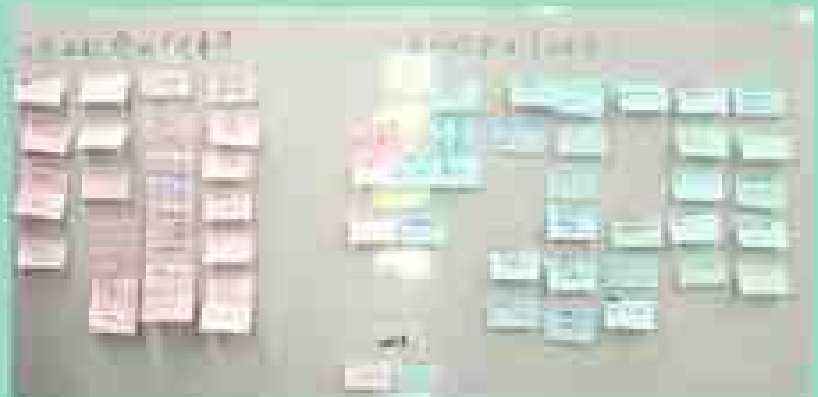
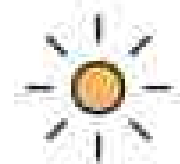
小学生 2班



小学生 3班



中学生・高校生 1班



中学生・高校生 2班



若者 1班



若者 2班



若者 3班



若者 4班